

尾道市実証実験サポート事業

尾道市では、地域課題の解決、豊かな市民生活の実現に向けて、スマートシティを推進しています。その取組のひとつとして、定住、交流、住宅供給、雇用の創出、子どもの貧困、ひきこもり、ヤングケアラーへの対応など、地域が抱える今日的課題の解決や行政運営の効率化を図り、持続可能で豊かな市民生活の実現につなげることを目的として、尾道市をフィールドとしたAIやIoTなどの先端的なデジタル技術を活用した実証実験を公募します。



Photo-Tetsuya Ito/by courtesy of DISCOVERLINK Setouchi

<募集期間>

令和4年5月30日（月）から
令和4年6月23日（木）17時まで

<サポート内容>

- ・ 上限200万円の経費支援（補助率1/2以内）
- ・ 実証実験拠点としてのシェアオフィスの利用
- ・ 市内公共施設などの実証実験フィールドの提供
- ・ 実証実験モニター等募集支援
- ・ 実証実験に係る地元調整
- ・ 法制度に関するアドバイス
- ・ 行政データの提供
- ・ 実証実験のPR支援

※詳細は募集要項をご覧ください。

URL:<https://www.city.onomichi.hiroshima.jp/soshiki/2/50532.html>

QRコード→

※尾道市の概要は裏面をご覧ください。



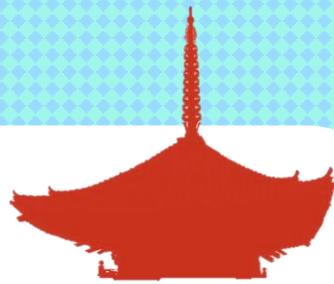
尾道市
ONOMICHI CITY

<問い合わせ先>

尾道市企画財政部政策企画課

E-mail:kikaku@city.onomichi.hiroshima.jp TEL:0848-38-9452

尾道市の概要



やまなみから、まちなみ、しまなみまで、
懐かしくも新しい 挑戦し続けるまち。

●尾道市の沿革

自然の良港を持つ尾道は、平安時代の嘉応元年（1169年）、備後大田荘の船津倉敷地となって以来、対明貿易船や北前船等の寄港地として、中世・近世を通じて繁栄をとげます。各時代は豪商を生み、多くの神社仏閣の寄進造営が行われました。

明治31年（1898年）、県内では2番目に市制を施行、周辺市町村との合併を経ながら市域を拡大し、緑豊かな北部丘陵地域から尾道水道周辺地域を経て独特の多島美を有する瀬戸内海地域に至る、多彩な資源を有するまちになりました。

瀬戸内のほぼ中央に位置し、山陽自動車道、瀬戸内しまなみ海道に加え、平成27年（2015年）3月に全線開通した中国やまなみ街道（中国横断自動車道尾道松江線）により、広域拠点としての機能は高まり、まさに「瀬戸内の十字路」としての発展が大いに期待されています。

また、3つの日本遺産に認定されるとともに、平成30年（2018年）に市制施行120周年、令和元年（2019年）に尾道港開港850年と節目の年を迎えました。

尾道市中心部

寺社・史跡が多く、坂とレトロな町並みも人気があり、観光業が盛ん。
製造業、漁業、海産物加工業等が主な産業。



御調地区

水田が広がり、農業が主力産業。地区の中心部には複合医療施設があり、子育て世代からシニア世代まで安心して暮らせる福祉のまちとして知られる。



向島

花・柑橘類の栽培や、造船業・漁業・農業が主力産業。市街地との間の海峡は尾道水道と呼ばれ、渡船でも行き来ができる。



浦崎地区

福山市に挟まれた飛び地。神楽が非常に盛んで、町内各地区に神楽団体があるほど。

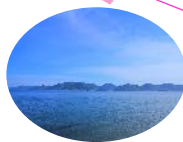
生口島

柑橘の栽培が盛んで、特にレモンは日本一の生産地。瀬戸田港近くのしおまち商店街を中心にまちづくりが進む。造船業・観光業が主な産業。



百島

いちご・柑橘の栽培が盛んな離島。アートの島としても知られる。



因島

因島村上水軍の本拠地。造船業や花・柑橘類の栽培や盛んで、八潮の発祥地としても知られる。

人口	総観光客数	サイクリスト	レモン生産量	日本遺産
13.1 万人 (R4.4末)	682 万人 (R1)	21.7 万人 (R1)	1位 (全国)	3件 (全国最多)